

第11回 科学の甲子園ジュニア福島県大会 実施要項

- 1 主 催 福島県教育委員会
- 2 共 催 福島大学共生システム理工学類
- 3 参加資格 県内の中学校（義務教育学校後期課程含む。）1、2年生を対象に、3名で編制されたチーム。同一校又は複数校合同による参加も可とする。上位2チームは全国大会への出場権が与えられる。
- 4 大会目的 科学の甲子園ジュニア福島県大会は、理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、県内の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とする。
なお、本大会は、令和5年12月8日（金）～10日（日）に開催される「第11回科学の甲子園ジュニア全国大会」の県代表チーム選考を兼ねる。
- 5 日 時 令和5年8月9日（水）9：20～12：40
- 6 場 所 福島大学共生システム理工学類（福島市金谷川1番地）
福島県立会津学鳳中学校（会津若松市一箕町大字八幡字八幡1番地の1）
福島県立ふたば未来学園中学校（双葉郡広野町中央台一丁目6番地3）
- 7 競技内容 ○ 本大会は、筆記競技のみとする。
○ 筆記競技の課題は、理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した内容とし、生徒の習得済みの知識に加えて、新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。
- 8 競技形式 ○ 本大会は、1チーム3名の団体競技で行う。
○ チーム内で問題等を分担、相談するなど協働して成果を創出、又は解決し、その成果を競い合う形式とする。
○ 種類及び競技内容、競技時間は以下のとおりとする。

種 類	競技内容	競技時間
団体競技（1チーム3名）	筆記競技	120分

- 9 日 程 9：20～ 9：45 受付
9：45～10：00 諸連絡・競技説明
10：00～12：00 筆記競技（120分）
12：00～12：20 諸連絡・アンケート
- ※ 引率者は、筆記競技の会場には入室できない。引率者控室を準備する。

- 10 参加申込 (1) チームごとに参加申込書(別紙1)に記入し令和5年6月18日(日)までに下記宛先へメールで提出すること。
(2) 福島県大会の参加、上位入賞者対象の研修会等への参加、全国大会への参加、肖像権等の参加承諾書(別紙2)は、大会当日の受付時に提出する。
- 11 費用負担 (1) 福島県大会出場・研修会にかかる旅費等については、参加者各自の負担とする。
(2) 全国大会出場にかかる出場チーム選手及び引率教員等1名の往復交通費と宿泊費等は、原則として独立行政法人科学技術振興機構(JST)が負担する。
- 12 持参物 筆記用具 他(後日、参加者へ知らせる。)
- 13 参加者情報 各市町村教育委員会を通じて、参加申込のあった生徒の所属する学校へ、参加者情報を提供する。
- 14 表彰等 (1) 各競技の合計点数によって、上位4チームの成績優秀者を決定し、義務教育課Webページに発表するとともに、各チームへ連絡する。
(2) 上位2チームで県代表チームを編制し、全国大会へ出場する。3・4位のチームは補欠とする。
(3) 表彰は、全国大会の報告も兼ね、算数・数学ジュニアオリンピック等の表彰式と合同で令和6年1月5日(金)に行い、4チーム(12名)の成績優秀者を表彰する。
- 15 実技研修会 (1) 大会後、上位4チーム(計12名)の成績優秀者を対象に、全国大会に向けた実技研修会を3回程度実施する。
(2) 県代表チームの実技研修会への参加は悉皆とするが、それ以外のチームの参加は任意とする。
(3) 実技研修会は10月中旬から11月下旬の土曜日又は日曜日に実施する。(日時については後日調整)
- 16 体験・見学会 上位4チームの成績優秀者を対象に、県内の大学や企業、施設等での体験・見学活動等(未来を担うトップリーダー!先端技術体験)を行う。なお、引率は、義務教育課が行う。また、案内については、対象者へ別途通知する。
※ 「未来を担うトップリーダー!先端技術体験」の対象は、科学の甲子園福島県大会及び算数・数学ジュニアオリンピックの成績優秀者とする。
- 17 宛先及び問い合わせ先
福島県教育庁義務教育課 (担当:指導主事 白井孝拓、志賀匡行)
住所 〒960-8688 福島市杉妻町2番16号
電話番号 024-521-7774 FAX番号 024-521-7968
E-mail shirai_takahiro_01@pref.fukushima.lg.jp